

主な活動の紹介

○和木町地域協育ネット構想の周知・広報について

社会教育委員会議や、小・中学校、幼稚園、保育所への訪問を通して、地域協育ネットの概要説明や共通理解を図りました。また、学校支援への協力を依頼するときにも、支援者に地域協育ネットの概要説明を行い、理解を得ました。

○子育て支援について

統括コーディネーターが町内で子育て支援活動を行っている各団体を集めて、それぞれの活動の紹介や今後の連携のあり方について情報交換を行う会合を開催し、母子保健推進協議会の役員のコーディネーターを中心とした各団体間の連携の強化を図りました。

○放課後支援について

今までの地域課題であった町内の公園でのボール遊び解禁について、地域住民・学校・PTA関係者との協議の場を設け、公園での遊び方のルール等について話し合いました。

○学校支援について

これまで各学校が行っていた活動を、地域協育ネットでの活動とし、協力依頼や日程調整をコーディネーターが行いました。また、学校支援ボランティアの拡充に力を入れ、人材バンクの作成に着手しています。特に、中学校から職場体験の要請を受け、コーディネーターが積極的に動き、学校のニーズに答える多くの体験場所を提供できたことで、中学校の地域協育ネットに対する意識が変わりました。

<新たに実現した学校支援>



小学校 総合的な学習の時間
「健康について」



中学校 社会科
「地方自治の話」



中学校 学級活動
「面接指導」

成果と課題

学校支援については、協力依頼や日程調整をコーディネーターが行うことで、学校の負担を軽減することができました。また、子育て支援については、関係団体との情報交換会を行ったことで、各団体の活動の様子がよく分かり、各団体間の連携についても、来年度「子育てフェスタ（仮称）」を行うことが決まるなど、一定の方向性が見えてきました。**地域協育ネットの中で、今までの地域課題であった町内の公園でのボール遊びについて解決できたことも大きな成果といえます。**

課題としては、これまでは、学校からの支援要望に応える取組が主でしたが、地域から学校に対する支援要望や、「学校支援を行いたい」という地域の要望について、学校行事等との調整を図りながら実現を図っていく必要があります。また、地域活性化のために、児童生徒が自分たちで考え行動に移せるよう支援していく必要があります。

今後の取組

平成25年度より、和木中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを導入すると同時に、幼・小・中の連携の強化と小・中学校に対する具体的な支援策を話し合う「コミュニティ・スクール委員会」を設置する予定です。当委員会の委員には、学校教育について理解のある人や、各種団体の長が任命される可能性が高いことから、今後は当委員会との連携を密にし、小・中学校への支援体制を強化していこうと考えています。放課後支援、子育て支援については、教育委員会事務局が橋渡し役となり、各団体や町長部局と連携して支援の拡大・充実を図っていきたく考えています。